

第 1 3 章 消防本部

第 1 節 消防総務課

〔総括概要〕

消防総務課は、消防総務係・消防団系の 2 係体制で業務を行っている。

消防総務係の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修及び福利厚生、広報広聴、消防事務の企画及び調整並びに消防施設の整備及び維持管理である。

職員の研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるように、平成 30 年度から分野ごとに対象者を限定する T F E T (Tochigi Fireman Education and Training／栃木市消防職員研修) や専科教育訓練を継続的に実施し、職員の知識及び技能の向上に努めた。

広報広聴については、ホームページにおいて消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知するため、消防本部の各種の案内及び応急処置方法等の掲載のほか、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

消防施設の整備については、消防庁舎整備事業として平成 31 年 4 月に策定した「栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備基本計画」を踏まえ、令和元～2 年度に庁舎整備基本設計を完了した。

消防団系の主な分掌事務は、消防団の総括及び連絡調整、消防団施設の整備及び管理、資機材の購入及び管理並びに開発行為に係る消防水利の協議である。

施設等の整備については、令和 3 年度に再編される消防団組織において不要になる施設の処分方法の検討を行っているところであり、令和 2 年度においては栃木方面隊第 1 分団機械器具置場及びホース乾燥塔、簡易トイレ解体工事設計業務委託を行った。車両については令和元年東日本台風の影響により全損となった栃木方面隊第 2 分団及び大平方面隊第 1 分団第 1 部車両の更新をしたほか、西方方面隊本部分団の指揮広報車の更新並びに栃木方面隊第 8 分団第 2 部の消防ポンプ自動車及び西方方面隊第 3 分団第 1 部の小型動力ポンプ付積載車を軽自動車ベースの小型動力ポンプ付積載車に更新し、有事の際への対応力を強化した。

消防団の訓練及び点検は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一定規模以上のものについて全て自粛をした。

消防団の防災活動については、平時における消火活動等に従事したほか、火災予防広報を行った。また、令和元年東日本台風発生時の活動が評価され、防災功労者内閣総理大臣表彰を受賞した。

開発行為に係る消防水利に関する協議については 24 件の申請があり、その内、消防水利を新規で設置する必要があったものは 7 件であった。

消防総務係

1 消防職員数

(1) 階級別職員数

(4月1日現在 単位：人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								204
実員	1	9	24	39	24	21	68	5	191

(2) 所属別職員数

(4月1日現在 単位：人)

階級 所属		消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	そ の 他	計	摘 要
消防 本部	消防長	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	次長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	消防総務課	-	2	2	2	1	1	1	4	13	栃木県消防防災課派遣1
	予防課	-	1	4	3	-	1	2	1	12	
	警防課	-	1	1	1	-	1	1	-	5	
	通信指令課	-	1	2	3	3	-	2	-	11	
	計	1	6	9	9	4	3	6	5	43	
消防 署	署長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	消防第1課	-	1	3	6	3	2	15	-	30	
	消防第2課	-	1	2	8	5	3	12	-	31	
	大平分署	-	-	2	5	3	2	6	-	18	
	藤岡分署	-	-	2	4	2	2	6	-	16	
	都賀分署	-	-	2	2	2	3	5	-	14	
	西方分署	-	-	2	2	2	4	4	-	14	
	岩舟分署	-	-	2	3	3	2	6	-	16	
計	-	3	15	30	20	18	54	-	140		
研修職員	-	-	-	-	-	-	8	-	8	県消防学校へ入校8	
合計	1	9	24	39	24	21	68	5	191		

(3) 消防職級別職員数

(単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	9	12	12	39	24	57	28	182
女	-	-	-	-	-	-	3	1	4
計	1	9	12	12	39	24	60	29	186

2 消防職員人事

(1) 職員の採用 (単位：人)

職 種	人 員	男	女
消 防	5	5	-

(2) 職員の退職 (単位：人)

職 種	人 員
消 防	3

(3) 消防職員採用試験の実施状況

ア 試験実施状況

実 施 日	内 容
9月20日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月15日(木)	第二次試験(体力測定)実施
10月22日(木)	第二次試験(面接試験)実施

イ 受験状況

職 種	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			実質倍率 (倍)
			男	女	計	
消 防	21	15	5	-	5	3.0

3 消防職員研修

(1) 栃木県消防学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
4月7日(火)～9月25日(金) [115日]	初任教育	8
9月28日(月)～10月26日(月) [21日]	専科教育救助科	2
10月5日(月)～10月16日(金) [10日]	幹部教育初級幹部科	2
10月27日(火)～12月24日(木) [41日]	専科教育救急科	8
1月13日(水)～1月26日(火) [10日]	専科教育警防科	2
1月14日(木)～1月22日(金) [7日]	専科教育特殊災害科	2
2月1日(月)～2月3日(水) [3日]	幹部教育上級幹部科	2
2月4日(木)～2月18日(木) [10日]	専科教育火災調査科	3

(2) 消防大学学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
8月19日(水)～10月8日(木) [51日]	専科教育予防科	1

(3) T F E T (栃木市消防職員研修)

研 修 日	研 修 科 目	参加者数(人)
11月8日(日)、1月31日(日)、2月28日(日)	N B C R 災害研修(初級)	48

4 職員厚生

健康診断の実施状況

検 診 名	対 象 者	受診者数 (人)
一般健康診断	全職員	148
胃がん検診	〃	112
肺がん検診 (胸部 X 線撮影)	〃	131
大腸がん検診	〃	131
前立腺がん検診	50 歳以上	6
人間 (脳) ドック	35 歳以上	57

5 広報関係

ホームページにおいて消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知するため、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急処置方法等の掲載のほか、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

6 消防施設の概要

(単位：㎡)

区 分	所 在 地	敷 地 面 積	構 造	1 階 床面積	2 階 床面積	3 階 床面積	延 面積
消 防 本 部	平 柳 町 1-34-5	1,725	鉄骨造陸屋根3階建	467	437	22	926
栃 木 市 消 防 署	平 柳 町 1-34-5	4,970	鉄筋コンクリート造 3階建	641	330	315	1,286
大 平 分 署	大 平 町 蔵 井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤 岡 分 署	藤 岡 町 藤 岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都 賀 分 署	都 賀 町 大 柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西 方 分 署	西 方 町 金 井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289
岩 舟 分 署	岩 舟 町 静 5133-1	3,320	鉄骨造2階建	507	272		779

7 消防施設の整備状況

主な業務

(単位：円)

業 務 内 容	金 額
栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備実施設計業務委託	62,995,449

消防団係

1 消防団員数

(1) 階級別団員数 (4月1日現在 単位：人)

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	18	37	37	85	162	876	1,216
実員	1	14	37	37	85	156	773	1,103

(2) 所属別団員数 (4月1日現在 単位：人)

階級 方面隊等		団 長	副 団 長 (方面 隊長)	副 団 長 (方面 隊副 隊長)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
団本部	定員	1	6	12	-	-	-	-	-	19
	実員	1	6	8	-	-	-	-	-	15
栃木	定員	-	(1)	(2)	13	13	36	100	332	494(497)
	実員	-	(1)	(2)	13	13	36	94	278	434(437)
大平	定員	-	(1)	(2)	4	4	14	14	136	172(175)
	実員	-	(1)	(0)	4	4	14	14	123	159(160)
藤岡	定員	-	(1)	(2)	5	5	9	9	116	144(147)
	実員	-	(1)	(2)	5	5	9	9	115	143(146)
都賀	定員	-	(1)	(2)	5	5	7	13	68	98(101)
	実員	-	(1)	(2)	5	5	7	13	67	97(100)
西方	定員	-	(1)	(2)	5	5	8	14	88	120(123)
	実員	-	(1)	(1)	5	5	8	14	70	102(104)
岩舟	定員	-	(1)	(2)	4	4	10	10	121	149(152)
	実員	-	(1)	(1)	4	4	10	10	107	135(137)
女性分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	15	20
	実員	-	-	-	1	1	1	2	13	18
合計	定員	1	6(6)	12(12)	37	37	85	162	876	1,216
	実員	1	6(6)	8(8)	37	37	85	156	773	1,103

備考 副団長（方面隊長・方面隊副隊長）は、各方面隊正副隊長を兼任する。

() 内の数字は内数

2 消防車等の態勢

(4月1日現在 単位：台)

区分 方面隊等	消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ 付積載車	指揮連絡車	計
団本部	-	-	3	3
栃木	21	6	2	29
大平	13	-	1	14
藤岡	4	4	1	9
都賀	4	2	1	7
西方	2	6	1	9
岩舟	9	-	1	10
女性分団	-	-	1	1
計	53	18	11	82

3 消防団の活動状況

(1) 各方面隊・女性分団の主な訓練等

方面隊等	名称	開催日	開催場所
栃木	土のう作成訓練（10分団）	9月13日（日）	吹上公民館
大平	土のう作成訓練	9月27日（日）	大平総合支所職員駐車場
藤岡	土のう作成訓練	9月13日（日）	藤岡総合支所駐車場
西方	無線機活用夜間警戒訓練	8月22日（土）	西方北グラウンド
女性分団	秋季火災予防運動に伴う立哨及び広報活動	11月9日（月）～ 11月13日（金）	栃木市内

(2) 栃木市消防団団本部会議

開催日	場所
5月8日（金）	栃木市消防署会議室
8月21日（金）	〃
3月15日（木）	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） 大交流室

(3) 各方面隊・女性分団の会議

方面隊等	名称	開催日	場所
栃木	栃木方面隊分団 長会議	11月13日（金）	栃木市消防署会議室
西方	西方方面隊役員 会	4月7日（火）	栃木市消防署会議室
		8月6日（火）	西方公民館会議室
岩舟	岩舟方面隊会議	4月12日（日）	岩舟方面隊本部分団機械器具置場

	12月17日(木)	〃
	2月26日(金)	〃
	3月18日(木)	〃

(4) 栃木市消防団の再編に関する説明会

開催日	場 所
11月26日(木)	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター) 大交流室
11月27日(金)	〃

4 消防施設の整備状況

(1) 主な資機材等の購入

品 名	数 量	金額 (円)
消防車両用低水位ストレーナー	4台	299,200
アポロキャップ	100個	291,500
活動服 (上下セット)	150着	2,343,000
編上げ靴	104足	743,600
雨衣	605着	1,796,850

(2) 主な施設整備

事 業 名	事業箇所	金額 (円)
防火水槽撤去工事	都賀町家中地内 大塚町地内	1,463,000
栃木方面隊第1分団機械器具置場及びホース乾燥塔、簡易トイレ解体工事設計業務	泉町地内	1,144,000

5 消防団サポート店登録状況

(1) 業種別

(単位：件)

登録数				
	うち飲食業	うち製造業	うち販売業	うちその他
95	35	2	18	40

※その他は建設業・自動車整備業・葬祭業・美容業等

(2) 地域別

(単位：件)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
43	15	11	9	4	13

6 消防団協力事業所認定状況

(1) 地域別

(単位：件)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
20	12	11	6	1	6

7 広報関係

消防団の存在と活動実績を市民に周知するため、広報とちぎへ記事を掲載したほか、消防団広報誌「火伏」第3号を発刊し、消防団を広くPRした。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した広報活動として、女性分団が、例年実施していた保育園等での防火防災教育に代わり、火災予防広報として、新たに栃木市消防署前にある歩道からの立哨と、市内全域を車両で巡回し、拡声器による火災予防運動の周知を行った。